

[成果情報名]黒星病抵抗性ニホンナシ「ほしあかり(筑波56号)」の特性

[要約]黒星病抵抗性ニホンナシ「ほしあかり」は、中生品種「豊水」よりやや早い8月中下旬に収穫できる赤ナシである。果形は円で明瞭な条溝があり、果肉は軟らかく食味がよい。

[キーワード]赤ナシ、「ほしあかり」、黒星病抵抗性

[担当]長崎県農林技術開発センター・果樹研究部門・ビワ落葉果樹研究室

[連絡先](代表)0957-55-8740

[区分]果樹

[分類]指導

[作成年度]2014年度

[背景・ねらい]

現在のニホンナシ栽培品種の中で最も重要な病害である黒星病は、感染期間が長く頻繁に殺菌剤の散布が必要であり、防除作業の経費と労力を必要とする。特に、近年は薬剤耐性菌の出現により黒星病の発生が多く、生産量低下の要因となっている。そこで、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所で育成された黒星病抵抗性品種「ほしあかり(筑波56号)」の果実特性と栽培性を調査し、本県への適応性を明らかにする。

品種の来歴

品種	交配組み合わせ	
ほしあかり	♀ (巾着×豊水)	× ♂ あきあかり

[成果の内容・特徴]

1. 樹勢はやや弱く、枝の発生密度は中～少程度、短果枝と腋花芽の着生はともに中程度で花芽の着生がよい(表1)。
2. 果実は赤ナシで、果皮色は黄褐色である。果形は円、玉揃いは中～不良で、明瞭な条溝があり、有てい果が見られる。裂果やみつ症などの生理障害はない(表1、写真1)。
3. 収穫期は、「豊水」よりやや早い8月中下旬である(表2)。
4. 果実重は「幸水」と同程度、「豊水」よりやや小さい400g程度、糖度は「幸水」「豊水」と同等かやや高く12度以上となり、果肉が軟らかい(表3)。

[成果の活用面・留意点]

1. 本試験で用いた「ほしあかり」は、2007年に台木「マメナシ」、中間台「幸水」に高接した樹齢4～8年生、「幸水」及び「豊水」は樹齢25～29年生であり、反復は1樹である。供試したすべての品種は、無袋栽培である。
2. 自家不和合性であり、交配においては主要品種「幸水」「豊水」と和合性である。
3. 育成地(茨城県)では、心腐れがわずかに発生するが、その程度は軽微である。
4. 黒斑病にも複合抵抗性であり、薬剤散布回数の軽減が見込める。ただし、赤星病等には罹病性であり、防除は必要である。
5. 本品種は、2014年12月4日付で出願公表されている。

[具体的データ]

表1 「ほしあかり」及び主要品種の樹体及び果実特性 (2010～2014年)

品種	樹体特性				果実特性					
	樹勢	枝の発生密度	短果枝の着生	腋花芽の着生	果形	玉揃い	渋味	裂果	みつ症	心腐れ
ほしあかり	やや弱	中～少	中	中	円	中～不良	無	無	無	無
幸水	中	中	少	中	扁平～円	中	無	無	無	無
豊水	中	多	中	中	円	良	無	無	微	無

表2 「ほしあかり」及び主要品種の生育相 (2010～2014年の平均)

品種	開花期		収穫期	
	始	終	始	終
	月・日 (幅)		月・日 (幅)	
ほしあかり	3.24 (3.15-4.3)	4.1 (3.26-4.8)	8.13 (8.2-8.16)	8.20 (8.2-9.5)
幸水	3.30 (3.19-4.7)	4.9 (4.2-4.14)	7.21 (7.3-8.4)	8.10 (8.4-8.16)
豊水	3.26 (3.19-4.3)	4.4 (3.25-4.12)	8.17 (8.2-8.25)	9.6 (8.28-9.12)

表3 「ほしあかり」及び主要品種の果実品質 (2010～2014年の平均)

品種	平均重 (幅) (g)	果肉硬度 ^z (幅) (lbs)	糖度 (Brix)	pH
ほしあかり	412.0 (359-467)	4.5 (3.9-5.3)	12.7 (11.7-13.7)	5.1 (5.0-5.2)
幸水	372.2 (357-408)	5.8 (5.0-7.2)	12.2 (11.2-12.7)	5.1 (4.9-5.3)
豊水	509.2 (487-532)	5.0 (4.3-5.3)	12.2 (10.9-13.0)	4.5 (4.3-4.7)

^z マグネステラー硬度計 (プランジャー径 5/16 インチ) により測定



梗あ部



ていあ部

写真1 「ほしあかり」果実

[その他]

研究課題名 : 落葉果樹新品種の適応性

予算区分 : 県単

研究期間 : 1999年度～

研究担当者 : 松本紀子、石本慶一郎